



高石小学校だより

『 たくましい子・かしこい子・いよくのある子・やさしい子 』



2022
7.14
NO.8
文責:弘瀬

～安全とルールについて～

雨の日の休み時間、教室からろう下へ追いかけてをしながら走り出したり、「走ると危ないからやめよう」と言われても無視して通り過ぎたりと危ないと思う場面が時々あります。子ども同士でも「ろう下走らんとって」と注意している場面もあります。

学校生活を安全に送るためのルールについて右のようなスライド使っておはよう集会で話をしました。そして、最後にみんなで「どんなルールがあるかな？あったらいいかな？」と近くの友達と話し合ってもらいました。子ども達からは「みんなとなかよくする」「先生がいない時も…」「廊下を走らない」「マスクをする」などの発表もしてくれました。ルールは決められているからだけではなく、みんなが安全に安心して生活できるためにあるということが伝わったでしょうか。

もうすぐ夏休みも始まります。自分はいつもう大丈夫だからと思っけていても思わぬとこ

安心・安全な学校ってどんな学校？

安心していられるには

話ができる。話をきいてもらえる。
いやな言葉、きつい言葉を言われない。
それぞれの個性が認められる。
やさしくされる。



安全な学校とは

ルールが守られていて、けがをしない。
いやな言葉を言われない。
人権がきずつけられない。
物がこわれぬ。



安全のためのルール①



安全のためのルール②

片づけてないと

遊び道具にしまったら



1～6年は体の大きさも発達も大きくちがう。その中でみんなが楽しい学校にするには？

ルールって大事だよ

上級生

- 体が大きい。力が強い。集中して考えたい勉強もある。
- 下級生と遊ぶ時には声がけしたり、気をしたり、負けてあげることもある。
- 集団登校や掃除の班長や学校のリーダーとして司会をしたりアイデアを考えたり、あいさつをしたりなど役割と責任がある。

下級生

- 体が小さい。走り回って遊びたい。
- 何でもできるようになりたい。でもうまく話せないことや書けないこともある。
- 初めてのことやできるようにしたをすなおに書べる。
- 全体のようにすや相手のきもちがわからないこともある。

ろに危険は潜んでいます。また、言葉や言動で相手を傷つけないということも大事です。上級生と下級生みんなが安心して過ごせる安全な学校にしていくためにこれからもみんな考えていきたいと思ひます。

【今年高石小がめざすのは】

【学校ビジュン】

～知りたい！ききたい！伝えたい！～



【校長室の挨拶】

あいさつ 協力 みんなで楽しい学校にしよう

～3・4年総合 仁淀川のお話～

7月6日（水）3・4年生総合的な学習で仁淀川流域の山・川・海の環境保全推進協議会の麻岡博先生に来ていただき、仁淀川についてのお話を聞きました。そして、仁淀川の水がきれいな訳は山の土の腐葉土が関係しているという実験も見せてもらいました。赤土と腐葉土から出てくる色の違いは一目瞭然、子ども達もおどろきでした。土佐市の飲み水である仁淀川の水のきれいなことを実感しました。



～地区児童会～

7月8日（金）の朝（8:15～8:40）に地区児童会を行いました。



夏休み前、各地区で集まり、ラジオ体操の場所や時間などや危険なところなどについて話し合い夏休みを安全に過ごすためです。また、4月の集団登校からしばらくたち、今後の災害時等で集団登校したりする場合も想定して顔合わせの意味もあります。

各地区の地区長さんも時間に合わせて来ていただきありがとうございました。各地区の詳細は今週手紙でお知らせしています。夏休みも早起きで健康に過ごしましょう。

～坂本先生来校～

昨年7月まで高石小で勤務していた坂本真由先生が、7月8日（金）にオーストラリアから一時帰国して学校へ来てくれました。オーストラリアでも先生をやり始めていて、今は2週間の冬休み中ということです。廊下



で手を振ったり、4年生の時の担任だった6年生には話をしてくれたり、質問に答えたりしてくれました。久々の6年生は少し照れながらも坂本先生のいつもの笑顔に元気をもらいました。おみやげとして学校へオーストラリアのパズルをもらいました。6年から順に教室へ回していきたいと思います。

